

菊池学園事業について

地方創生総合戦略事業として

平成28年度から地方創生総合戦略の主要事業として、教育行政と一般行政が連携した「菊池学園事業」がスタートしました。子どもをはじめとする一人一人の自尊感情を高めるために、菊池省三氏に教育特使を委嘱し、小中学校への訪問を中心に活動していただきました。

当初は①菊池学級、②教師塾 菊池寺子屋、③大人版菊池学級、④教師のたまごセミナーの4つを柱として取組を進め、いの町の教育をより広くPRするために⑤教育特使菊池省三先生との学び場も実施しました。

また、令和2年度からは町独自の事業として実施してきました。

取組① 菊池学級（菊池先生の師範授業）



笑顔で学び合う

菊池先生が師範授業をしたり、先生方の授業参観などをして指導助言を行う。
訪問回数：256回（H28～R4）

取組② 教師塾 菊池寺子屋



学び続ける先生

子どものために、菊池先生の実践をより深く学ぶ先生方。
開催回数：150回（H28～R4）
延べ参加者数：2,168人

取組③ 大人版 菊池学級



大人も子ども一緒

町民を対象とした講演やセミナー。
開催回数：10回（H28～R2）
参加者数：534人

取組④ 教師のたまごセミナー



学びは仲間と一緒に

大学生や若年教員を主に対象としたセミナー。
開催回数：4回（H28～R元）
参加者数：190人（町内88人、町外102人）

取組⑤ 菊池省三先生との学び場



特設 菊池学級

いの町の教育をより広くPRするため、町内の子どもも参加するセミナー。
開催回数：11回（H28～R元）
参加者数：739人（町内459人、町外334人）

自尊感情を高めるために

町では、「ありのままの自分を受け入れ、相手もありのまま受け入れることができる心情」を自尊感情としています。自尊感情は温かい関係のある集団で育まれ、高まっていきます。園や学校では、「価値語」「ほめ言葉のシャワー」「成長ノート」などを取り入れ、関係づくりを進めました。

価値語



公の場で生きていくために、大切な価値や気づきや行動を表す言葉。

2023年度版価値語カレンダーは役場本庁舎で無料配布中。

ほめ言葉のシャワー



子ども同士の関係づくりとして、その日の主人公の良いところなどをシャワーのように伝える。伝え方や場面など、クラスごとに工夫している。

成長ノート

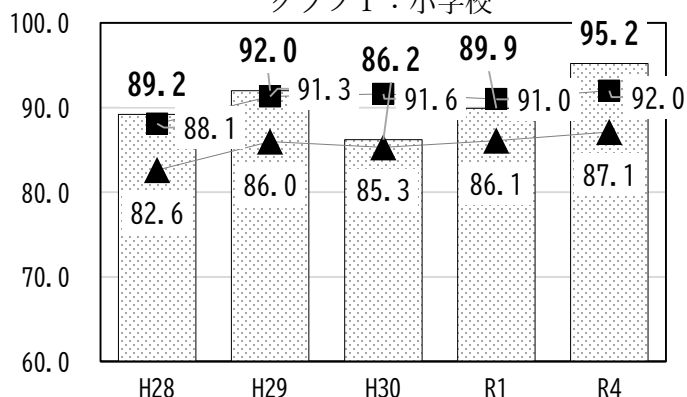


先生と子どもの関係づくりとして、先生がテーマを与え、子どもが思いや考えを書く。先生も子どもの成長を促すコメントを返す。

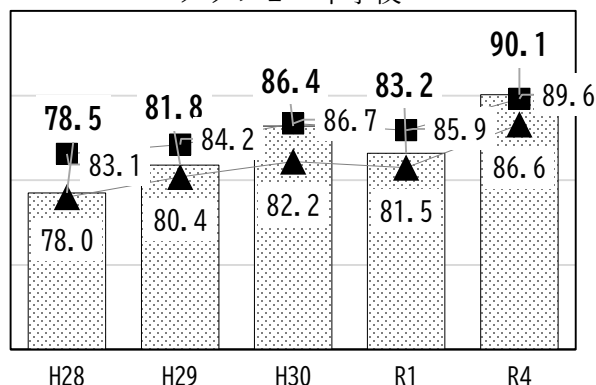
「ほめて、認めて、励ます」教育が定着

自尊感情を高めるためには、大人が子ども一人一人の良さや頑張りを認めて、伝えることから始まります。下のグラフは、全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の肯定的回答（当てはまる、どちらかといえば当てはまる、の合計）の割合で、棒グラフが町、■が県、▲が全国を表しています。（令和2年度は中止。令和3年度は質問なし。）

グラフ 1：小学校



グラフ 2：中学校



グラフ 1、2 から小学校・中学校ともに、肯定的な回答がこの7年間で最も高い割合（小学校：95.2%、中学校：90.1%）となり、県、全国よりも高い割合でした。

「子ども同士が多様性を認め合い、仲間と共に成長するために、一人一人のキラリと光る良さを見つけて、子ども同士をつないでいる。」と力強く語る小学校の先生や、「人と違う意見でも言える温かい関係性をつくっている。」と実践を振り返る中学校の先生がいます。

自尊感情を高めるためには、安心して自分らしさが発揮できる環境が必要です。今回の調査結果や先生の言葉からも、いの町にその環境が整ってきたことは菊池学園事業の大きな成果です。

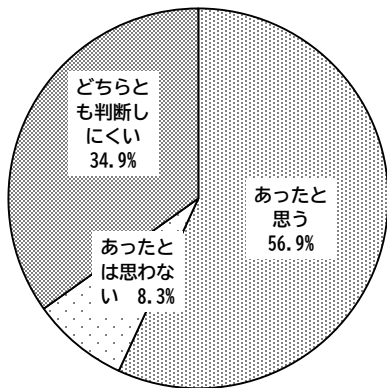
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

今、学校では、知識や技能を覚えたり習得する授業だけではなく、「周りの人たちとともに考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業づくり」「自分の学びを振り返り、次の学びや生活に活かす力を育む授業づくり」「一つ一つの知識がつながり「わかった!」「おもしろい!」と思える授業づくり」なども求められています。

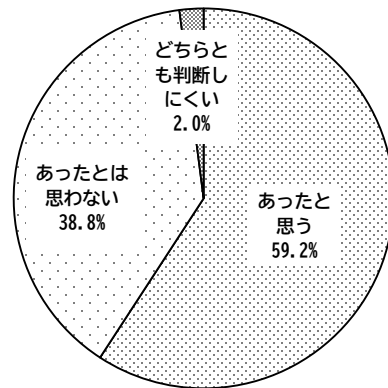
菊池学園事業でも平成30年度から、「少人数による話し合いのある授業」を目指して、授業改善に取り組んできました。令和3年度からは全ての学校が授業を公開し、町内の先生は自分の授業や自校の取組の参考にするために参加し、学ぶことができました。下のグラフは、令和4年度公開授業参加者アンケート「対話を生む発問が設定されていましたか」「対話を深めるための授業者の介入*はありましたか」の回答状況です。

「あったと思う」と回答した先生の割合は60%弱であることから、友達と意見を伝え合い、考えを深める授業や、活発に多様な意見が交流できるように、先生による切り返しや追加の問いかけがある授業づくりを進めていく必要があります。

グラフ3：対話を生む発問が設定されていましたか



グラフ4：対話を深めるための授業者の介入はありましたか



*…切り返し質問や、更に意見が分かれたり考えを深めたりする質問など

一人一人を伸ばす教育へ

菊池学園事業は令和4年度で終了しますが、園や学校では自尊感情を高める取組を継続しながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善などを進めていきます。

これまでの取組で培った関係づくりの手法や安心して自分の意見や考えを伝えることができる環境を土台として、現在の教育課題（不登校対策・ICT活用・保幼小中の連携・推進など）にも対応をしてまいります。

町民の皆様におかれましては、これまで同様に温かい眼差しで、いの町子どもたちを見守り励ましていただきますよう、よろしくお願いいたします。



園児に囲まれている
いの町マスコットキャラクター
ぶっくりハートちゃん

ぶっくりハートとは
自尊感情が高まっている状態の
こと。